

(新)緊急地震速報端末整備事業

当初予算主要事業 教育委員会 12頁
教育総務室(224-3301)
【予算額 3,123千円】

<目的>

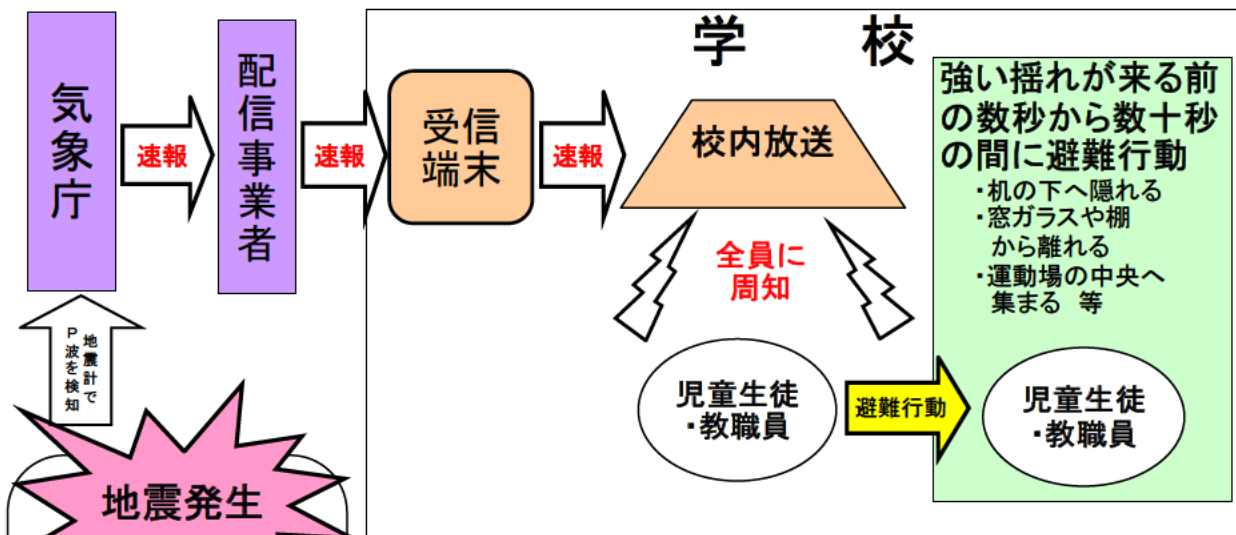
すべての県立高等学校・特別支援学校に、緊急地震速報を受信するための専用端末機を設置し、日頃から緊急地震速報を活用した訓練を実施するなどして、児童生徒および教職員が即座に避難行動をとれるようにするとともに、防災意識を向上させます。

<対象> 全県立学校78校(94箇所)

高等学校64校(79箇所)
(夜間定時制、通信制には、全日制とは別にそれぞれ1箇所設置)

特別支援学校14校(15箇所)
(東紀州くろしお学園は、小中学部と高等部にそれぞれ1箇所設置)

<地震発生からの流れ>



今後30年以内の発生確率
東海地震:いつ発生してもおかしくない
東南海地震:60~70%
南海地震:50%

<訓練での活用>

実際の地震発生時に活かす

